

完了報告書（平成 22 年度）

提出者 本田 恭子

提出年月日 2010 年 3 月 31 日

**【プロジェクト名】**

和文 混住化農村における地域資源管理の再編

英文 Reconstruction of the management of regional resources in suburban villages

**【メンバー構成】**

研究代表者 本田恭子

幹事

メンバー

**【ねらいと目的】**（600 字程度）

農地や農業用水路、ため池に代表される地域資源は農業生産に不可欠な基盤であると同時に重要な公益的機能も持つ。これまで地域資源は集落が主体となって維持管理を行っており、その管理体制の大きな特徴は全戸参加と無償労働であった。近年、村落で地域資源、特に農業用水路の適切な管理を続けることが困難になりつつあることから、これまで資源管理に積極的に係わってこなかった非農家に協力を求めることが必要であるとの認識が広がり、資源管理への非農家の参加を促すために 2009 年度より農地・水・環境保全向上対策が実施されている。農地・水・環境保全向上対策では、地域資源の維持管理作業への参加者に対して地域に渡される交付金から報酬を出すことで非農家の参加を呼び込む、もしくは彼らの参加の契機とすることが想定されている。しかし、交付金を作業への報酬に充てることは、これまで無償労働を前提として成り立っていた体制に貨幣関係がもちこまれることを意味することから、集落の重要な原則に変更を迫るのみならず、農村住民にも大きな影響を与える可能性があると考えられる。

そこで本研究では、農地・水・環境保全向上対策への集落の対応（既存の維持管理作業に対して報酬を設定するか否か、報酬を出す理由など）から、農村の様々な変化が地域資源の維持管理に対する住民の認識、ひいては地域資源管理体制の再編方向にどのような影響を及ぼしているかを検討する。

**【活動の記録】**

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等

調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等

その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

アジア農村社会学会（ARSA）第 4 回大会

開催年月日 2010 年 9 月 7 日～10 日

報告者 本田恭子

報告題目 Trends and Regional Conditions of Irrigation and Drainage Canal Maintenance in Japan

調査年月日 2010 年 8 月 6 日、16 日

調査者 本田恭子  
調査地 兵庫県三田市・宝塚市  
調査目的 農業用排水路の維持管理作業に関する住民への聞き取り調査

調査年月日 2010年10月14日、11月17日、12月5日

調査者 本田恭子  
調査地 兵庫県明石市  
調査目的 農業用排水路の維持管理作業に関する住民への聞き取り調査

**【成果の概要】** (800字程度)

上記の課題に対し、2010年8月に大都市近郊の兵庫県宝塚市・三田市・猪名川町で農地・水・環境保全向上対策に取り組む81集落の代表者を対象にアンケート調査を実施した。主な質問内容は、報酬の有無と報酬を出している理由であった。アンケートの回収枚数は61枚で、分析には46枚を用いた。分析の際には、農林業センサス等の統計データも用いた。また、3つの集落の代表者に対して聞き取り調査を行い、現地での地域資源管理の慣行や農地・水・環境保全向上対策への取り組みについて把握した。

その結果、報酬を参加者へのインセンティブと見なす傾向のある集落は、地域資源管理にかかる負担が重いか、農家の兼業化が進んでいる集落であった。一方、地域資源管理に対する住民の認識に変化がなく、報酬の設定によって参加者の作業への参加が影響されない集落は、都市に近接し、農業の専門化が相対的に進んでいる集落であった。これらの結果から、非農家の戸数や割合の増加よりも、農家の営農状況の方が地域資源管理の体制に与える影響が大きい可能性があると考えられる。

**【通信欄】**

(研究代表者記入)

プロジェクト	■次世代    □次世代ユニット    □男女共同参画に資する調査研究			
経費	予算額	422 (千円)	実績額	422 (千円)